

令和6年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ 17	若者向け Well-Being を生かした まちづくり体験型学習プログラムの検証（浜松市）
--------	--

1. 解決したい課題の内容

- ・国は、「デジタル田園都市国家構想総合戦略（2023 改訂版）」の中で、Well-Being（心豊かな暮らし）の実現を掲げ、地域の目指す姿を具体化するにあたって、Well-Being を可視化した「Well-Being 指標」を行政や地域住民との「共通言語」として活用することを促している。
- ・浜松市では、地域幸福感の向上に向けて、庁内管理職を対象とした政策デザイン研修（OASIS 研修）の実施や、地域幸福感を高めるシナリオの作成、官民連携のワークショップ開催、企業や団体の Well-Being に関する取組を顕彰する「はままつ Well-Being アワード」の創設など、全国に先駆けて本指標を活用した取組を行っている。
- ・こうした取組をさらに前進・加速化させるため、本指標や Well-Being を生かしたまちづくりの考え方について、学生など若い世代にも Well-Being の考え方を浸透させていきたいと考えているが、効果的な手段・方法については模索しているところである。

2. 実現したい目標について

- ・Well-Being 指標や Well-Being を生かしたまちづくりの考え方が、十分に地域に浸透しており、市民の皆様をはじめとした様々な主体を巻き込み、Well-Being 指標を活用した幸福感あふれる持続可能なまちづくりを推進できる状態を理想とする。

3. 必要とする技術について

- ・ワークショップのファシリテーションやゲーミフィケーション等に関する優れたノウハウや知見（デジタルや ICT 技術の活用は必ずしも必要としない）。
- ・浜松市の地域特性を反映した Well-Being 学習プログラムを市と共創し、地域に展開していく意欲があるとよりよい。

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

- ・学生など若い世代をメインターゲットとして、Well-Being 指標や Well-Being の考え方を生かしたまちづくりについて、わかりやすく体験的に学習することができるワークショップや研修プログラムを作り、市内で複数回、試験実施しながらブラッシュアップする。
- ・令和7年3月までにワークショップの第1回を試験実施できることが望ましい。

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・浜松市 Decidim 「地域幸福度（Well-Being 指標の活用）」

<https://hamamatsu.makeour.city/processes/lwci>